

● 広報

おくに



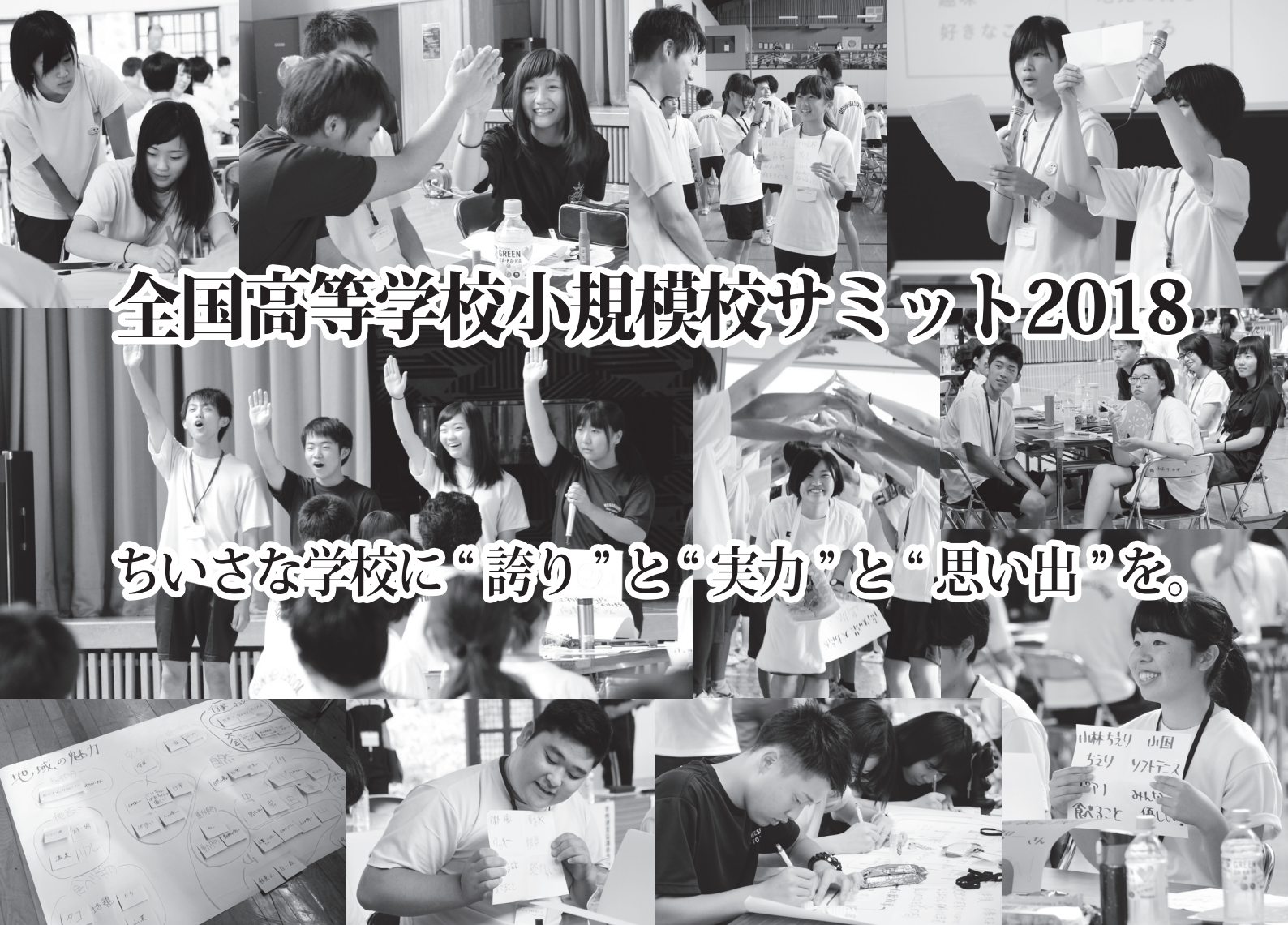
2018

9

No.767

力一杯駆け抜けて

8月19日(日)に行われた白い森サマースポーツ大会。多足リレー競^{たそく}技夫婦二人三脚に、夫婦合計90歳以上の枠で出場した11地区選りすぐりのオシドリ夫婦たち。長年連れ添った2人が息を合わせて力強く飛ぶように走る姿は、まさにオシドリのようなだった。



全国高等学校小規模校サミット2018

ちいさな学校に“誇り”と“実力”と“思い出”を。

全国的な人口減少や少子化に伴い、地方においては定員割れする高校が増加し、学校の小規模化や再編整備が進んでいます。小規模校の活動や課題を共有し、その存在意義や小規模校だからできることを考えようと、小国高校が企画し全国の小規模校に呼びかけ、8月2日に旧小玉川小中学校で第1回サミットを開催しました。今月は、この概要や参加した全国各地の生徒の声を紹介します。

花泉高校と出会い サミットに発展

小国高校では、昨年12月に岩手県立花泉高校との交流会が行われました。これは、花泉高校が創立70周年を記念して同規模の高校との交流や情報交換を目的に、小国高校を訪れたのです。

交流会に参加した両校の生徒・教員は、交流をきっかけに相手の良いところを自分の学校に生かすことができるという大きなヒントになったと感じたそうです。

また、小国高校ではこの交流会を通して同じ悩みを抱える高校生が全国各地にいることを知り、生徒全体で小規模



▲昨年12月の花泉高校と小国高校の交流会

8/1(水)
歓迎レセプション
前泊者対象

2018年

8月2日 木 10:00-16:30

サミット会場：旧小玉川小中学校【山形県小国町】

歓迎レセプション：飯豊梅花皮荘

セッション1

10:50~12:40

「参加校取り組み紹介」

発表者：参加する高校生のみなさん



セッション2

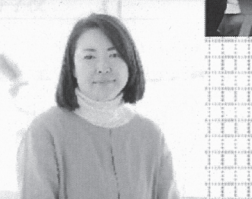
14:00~14:40

「最先端は辺境にあり！

小規模校だからできる地域づくり学習」

講演：岡崎 工三氏 (東北芸術工科大学コミュニティデザイン学科 学科長)

小野寺 真希氏 (宮城県気仙沼市地域おこし協力隊/東北芸術工科大学卒業生)



セッション3

14:55~17:00

「地域の為に 高校生が今,できること」

進行：小規模校サミットコアメンバー

小野寺 真希氏・ファシリテーターメンバー



小規模校サミットコアメンバー

生徒代表 メッセージ

この度は、「小規模校サミット」に来てくださり、本当にありがとうございます。高校生小規模校サミットは、全国の高校生の“小規模校ならではの活動”から私たちが視野を広げて勉強させていただき切磋琢磨したい、そして全国に同じ志を持った仲間のネットワークを作りたいと強く思い、はじめたプロジェクトです。みなさんが日頃、頑張っていることや考えをぜひ聞かせてください！きっと「小さな学校だからこそできること」が見つかり、新たな発見があると確信しています。この趣旨・願いに賛同していただける同年代のみなさんとの新しい出会いを楽しみにしております。

小規模校サミットコアメンバー 山形県立小国高校 2年 永井珠莉・遠藤彩希

校の存在意義や今後の可能性を考えながら全国の仲間たちとつながる機会として全国高等学校小規模校サミット開催へとつなげたのです。

そして、第1回サミットには東北を中心に北海道や熊本県、高知県など全国9道県から19校の生徒や教員など約200人が参加しました。

2018 小規模校サミット

サミットでは午前中に、参加校12校からそれぞれ自校での取り組み紹介を行ったほか、熊本県立甲佐高校からのビデオメッセージが流され、参加者は各校の取り組みを自分の高校でどう生かせるかなどを考えながら発表を聞いていました。

その中で、高知県黒潮町の大方高校では、今後30年以内に70〜80%の確率で南海トラフ地震が発生することが予想される中、東日本大震災を経験した同世代の高校生との交流を行うとともに、学校に防

参加した生徒の声

十日町高校松之山分校 (新潟県)

村山晴樹さん (2年)



お互いのことを良くわかっていくことが小規模校の良さだと改めて感じました。今後就職等でさまざまな人と関わる上で、この経験を大切にしていきたいです。

正徳館高校 (新潟県)

佐藤桃子さん (2年)



各校の発表を聞き、同じような活動をし、共通の問題を抱えていることがわかりました。地元に戻り、友人などと相談してまちづくりに役立つボランティア活動をしていきたいです。

松山高校 (宮城県)

望月竣太さん (3年)



他県の高校ではバーベキューなど珍しい学校行事が行われていることや小規模校ならではの取り組みがとても参考になりました。ネガティブにならず、ポジティブに考え、できることがたくさんあることを他の生徒に伝えていきたいです。



▲参加各校の生徒がそれぞれの取り組みを紹介した

災委員を設けながら地域内の高齢者等の避難経路の選定や避難までの時間計測、保育園・小学校・中学校・高校合同での避難訓練などを実施していること。

また、宮城県南三陸町の志津川高校では、大震災前に取り組んでいた「南三陸モアイ化計画」による町の魅力発信や町おこし活動を再開させ、津波被害で流されてしまった町民バスを高校生の力で復活させようと、オリジナルのモアイ缶バッジとストラップを製作・販売し、その収益金を

町に寄付する取り組みを新たに立ち上げ、平成25年11月と平成27年6月の2回に分けて合計650万円を町に寄贈したことなど、今回参加した各校では、地域に根ざしたさまざまな取り組みが展開されています。

そして、午後からはこのサミットの開催に指導いただいた東北芸術工科大学デザイン工学部コミュニケーションデザイン学科長の岡崎エミ氏と同学科1期卒業生の小野寺真希氏から「最先端は辺境にあり！小規模校だからできる地域づくり学習」と題した講演が行われました。そして、その後は参加した生徒が15のグループに分かれ、「地域のために高校生が今できること」をテーマにして活発な意見交換が行われました。

サミットに向けた 小国高校の取り組み

小国高校では、活発な意見交換を進めるため、サミット全体を統括するコアメンバー



▲7月9日には、小国高校全生徒を対象にサミットリハーサルが実施された

7人と、グループワークを中心に進めるファシリテーター25人が、東北芸術工科大学でファシリテーション研修を2回受講するとともに、全校生徒によるサミットリハーサルなどを実施しながら、初開催となるサミットの準備を行ってきました。

サミットを企画し、リーダーとして準備や当日の進め方などを中心に考えてきたのが小国高校2年の遠藤彩希（さき）さん（白子沢）と永井朱莉（あかり）さん（町原）

南郷高校（宮城県）

小林唯愛（ゆあ）さん（2年）

全国各地の小規模校に通う高校生の色々な意見を聞けて今後の参考にになりました。サミットに参加して学んだことを地元の友達に伝えていきたいです。



花泉高校（岩手県）

伊藤大地さん（2年）

各地域独特の行事があり、それにこういう意識で取り組んでいるかを知ることができて、今後の取り組みの参考になりました。また、被災地ボランティアを復活させ、地域内だけでなく幅広く活躍できるようにしたいです。



岩泉高校（岩手県）

中村美彩日（みやび）さん（2年）

人見知りなので不安でしたが、小国高校生がフレンドリーに接してくれて、すぐに打ち解けることができました。各校の取り組みを参考に自分たちの活動に活かしていきたいです。





▲遠藤 彩希 さん

また、永井さんは「さまざまな準備に多くのメンバーが手伝ってくれたので、リーダーとしては周りのみんなに支えてもらってサミットを開催できたのだと実感しています。サミットで司会を務め、もったとうすればよかったなと反省することもあります、全体的にスムーズに

の2人です。
遠藤さんは「初めてのことで、手探りの状況の中、開催日まで各地から集まるかたがたを最高のおもてなしができるように、全校生で準備し、明るい雰囲気の中で課題を共有し、意見交換ができるように装飾などにも工夫をしました。当日は、各校の特徴的な活動やその活動で得たことなどを知ることができ、開催目的である悩みの共有や意見交換をすることができたので開催してよかったと思います。人口減少という流れの

中で、学校が小規模になるのは仕方ないことだと思っています。ただ、自分が住む町に高校があることで、地域のかたとの交流も密にでき、高校生が地域に活力を与えられる存在になれるのだと思います。」と話してくださいました。



▲永井 朱莉 さん

いい雰囲気が進めることができてよかったですし、遠藤さんと考えた台本でみんなの笑顔も見ることができてとても嬉しかったです。準備など大変なこともありましたが、このサミットを通して、細かな気遣いができるようになったと感じています。」と話してくださいました。

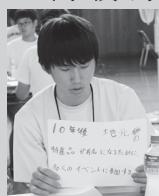
小規模校の可能性

全国的な人口減少に伴い、子どもの数も減り、学校の小規模化が進んでいます。一方、生徒数が少なくなれば、生徒1人が担う役割も増えていきます。高校生という社会人になる一手前の生徒たちが、学校そして地域の中で多くの役割を担い、地域社会にどのように貢献していけるかを真剣に考えながら、さまざまな取り組みを進める各地の小規模校は、誇りを築き、実力を蓄え、思い出に残る学校の姿を求め続けています。
頑張れ！ 小国高校。

川口高校（福島県）

江口尚平さん（2年）

私は埼玉県出身ですが、母の母校を勧められ川口高校に入学しました。



地域によって活動が面白いと思いました。サミットで学んだことを活かし、地域行事に積極的に参加するなど、地域のかたと交流を深めたいと思いました。

大方高校（高知県）

嶋原心さん（2年）

大方高校は地域のかたとの交流が多く、一緒に海岸を清掃したり、地元の保育園や小中学校と合同で避難訓練をしたりしています。県内には小規模校が少なく、自分たちの良さを話し合える機会がなかったので、とてもいい機会でした。会場の雰囲気も良く、小規模校だからこそののだと感じました。



大方高校（高知県）

喜多祐樹さん（2年）

みんなの考えていることを知ることができて、勉強になりました。学校では防災委員をやっているのですが、今日の話を学校で共有して、防災意識をさらに高めていきたいです。

子どもの具合が悪い。だけど仕事を休めない。 そんな時に、小国町病後児保育室 “にここ”

をご利用ください。

子どもの具合が悪いけど、仕事を休めない。保育園に預けられないし、周りに子どもをお願いできる人もいない。こんな時に利用できるのが、小国町病後児保育室 “にここ” です。町では、保護者の子育てと就労の両立を支援するため、病気の回復期にあり、集団や家庭での保育が困難な子どもを看護師と保育士が連携しながら保育を行う病後児保育室を今年1月に健康管理センター内に開設しました。今月は、小国町病後児保育室 “にここ” の施設概要や利用方法などについてお知らせします。

病後児保育室を

今年1月に開設

町では、保護者等の子育てと就労の両立を支援するとともに、児童の健全な育成を図ることを目的に、病気の回復期にあり、家庭や集団での保育が困難な児童を一時的に専用施設において保育する「小国町病後児保育室（以下「保育室」という。）」を今年1月に健康管理センター内に開設しました。

保育室では、看護師と保育

士の2人体制で病気の回復期にある子どもの保育を実施しています。

受け入れ可能人数は、1日2人で、本町在住の満1歳から小学校就学前の子どもを対象にしています。

また、保育時間は祝祭日・年末年始を除く月曜日から金曜日までの朝8時から夕方6時までとなっています。利用料金は1人1日2000円で、午前などの5時間以内の利用の場合は1000円になります。

保育室には、テレビやおもちゃなどが置かれたスペースと子どもがゆつくりと昼寝ができるように8畳の畳が敷かれた安静室があるほか、子ども用のトイレとシャワーを完備した部屋、準備室があります。

病後児保育室の

利用方法

保育室を利用するには、事前に利用登録が必要で、健康管理センターの窓口で受け付けています。利用登録の際、母子手帳等を持参することでスムーズな手続きが可能になります。

また、子どもの具合が悪くなった時は、まず病名を明らかにするため医療機関を受診してください（診断書は必要ありません）。



▲小国町病後児保育室の保育スペース

実際に保育室を利用する場合には、利用を希望する前日の午後4時までに保育室に直接電話で予約した上で、当日、必要な持ち物等を持参し、利用することになります。

利用当日は、利用申請書兼連絡票や医師から処方された薬、昼食（おやつ・飲み物含む）、着替えなどを持参して

◆小国町病後児保育室の主な受け入れ基準◆

主な疾患名	受入基準
風邪（気管支炎）	熱が下がったら
咽頭結膜炎（プール熱）	2日を経過し、熱が下がったら
感染性胃腸炎	熱と下痢、嘔吐の症状が落ち着いたら
手足口病	熱が下がったら
ヘルパンギーナ	熱が下がったら（下痢が消失し、回復に向かっていたら）
麻疹	発病後3日を経過し、解熱後2日を経過してから
風疹	発疹が消失したら
水痘（水ぼうそう）	発病後4日目から熱がなければ（状況をみて）
インフルエンザ	発病後4日を経過し、解熱後2日を経過してから
流行性耳下腺炎（おたふく風邪）	発病後4日目から
百日咳	抗生物質の治療後4日目から

※お子さまの症状によっては受け入れができない場合があります。

いただきます。

8月22日時点で、保育室の利用登録者は18人で、これまでに延べ10人の子どもたちが実際に利用しました。

1歳のお子さんが風邪を引いたときなどに利用された前田功さん（小国町）は、「次男は今年の4月から保育室に通っていますが、熱は治まったけど咳が出たり熱がぶり返したりしそうな時や、病気で入院した後など元気だけど保育室には預けられない場合に

病後児保育室を利用しています。私も妻もフルタイムで仕事をしていますし、両親が近くにはいないので、大変助かっています。長男もよく風邪を引いていたので、ファミリーサポートセンター制度を利用したこともありましたが、サポートのかたの都合もあるため毎回とはいかないので、いつでも預けられる施設があるのはとても安心です。病後児保育室は、少人数のため自分のペースで過ごせるように



▲前田功さん・直希くん親子

家に帰ってくると朝よりも元気になることが多くとても安心していきます。私の勤める会社には社員が全国各地から来ているため、近くに見てくれる親や親戚がいない人もいます。エンジニアなど代わりがいない仕事をしている人も多く、子どもの病気で仕事を長く休んでしまうと自然に自分の中のプレッシャーになることもあります。その中で、こうした施設があることは安心して仕事と子育ての両立ができると感じています。現在は前日までの予約となっていますが、子どもの体調は変わりやすく週明けの月曜日などはなかなか利用できないので、当日予約ができるとうさ

安心安全の
子育て環境を

町ではこれまでも、安心して子どもを産み育てられるよう出産支援や子育て環境の充実を図ってきましたが、社会環境の変化に伴い多様化する子育てニーズに対応しながら、子どもたちの健やかな育成とともに、保護者のかたがたが安心して仕事と子育ての両立ができるよう子育て環境の充実を図っていきます。



▲保育室で自由に遊ぶ子どもたち



8月19日
スポーツ公園

優勝を目指して11地区体協が熱戦 ～第27回白い森サマースポーツ大会～

第27回白い森サマースポーツ大会が、8月19日、総合スポーツ公園で開催され、11地区体育協会から約800人が参加しました。

大会では、ラケットリレーや多足リレー、綱引き、男女混合リレーなど9種目が行われました。また、来町していた大相撲東関部屋の力士と子どもたちとの綱引き三番勝負も行われ、2対1で子どもたちが勝利を収めました。

総合結果は、優勝が町岩東、準優勝が東南部、第3位が沖庭となりました。



8月14日
アスモ駐車場

水しぶきをあげ追いかける ～岩魚つかみどり大会～

岩魚つかみどり大会が、8月14日、アスモ西側駐車場で開催され、お盆に帰省した親子連れなど多くのかたが来場しました。大会では、幼児の部、小学生低学年の部、小学生高学年の部に分かれ、152人の子どもたちが参加して行われました。参加者は、仮設の水槽の中を泳ぐイワナを水しぶきをあげながら懸命に追っていました。



8月6-10日
さいわい荘

小学生が福祉にふれあう ～さいわい荘地域貢献事業～

特別養護老人ホームさいわい荘（小池克昌荘長）が、小学生と利用者のふれあいを図り、子どもの頃から福祉に興味を持ってもらおうと、8月6日から10日までの間「夏休みは宿題を持ってさいわい荘へ行こう」を開催しました。期間中に参加した小学生は延べ70人。午前中に利用者のいる大ホールで夏休みの宿題をしたあと、利用者のかたと一緒に昼食を食べ、午後には車いすの乗り方や補助の方法、エアマット体験などを職員から教わり福祉の仕事への理解を深めるとともに、利用者のかたとさまざまなゲームをして交流を深めていました。



7月ー8月
東海・中国地方

4人が全国大会に出場

～各選手が全国の舞台で健闘～

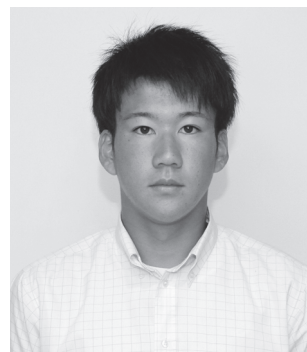
7月26日から8月20日まで三重県や静岡県などの東海地方で、平成30年度全国高等学校総合体育大会「2018彩る感動東海総体」が開催され、本町から3人の高校生が出場しました。

加茂水産高等学校3年の和田優也さん(東原)が相撲競技団体に、陸上競技男子リレー4×400mに米沢中央高等学校2年の高橋飛雄馬さん(西)、仙台育英高等学校2年の金直宏さん(緑町出身)がそれぞれ出場しました。

また、8月18日から21日まで、第45回全日本中学校陸上競技選手権大会が岡山県で開催され、本町から小国中学校3年の齋藤兼信さん(増岡)が陸上競技男子共通4種競技(110mハードル走・砲丸投げ・走高跳・400m走)に出場し、出場選手32人中15位と健闘しました。



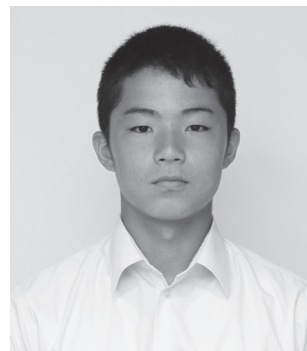
加茂水産高校3年
和田 優也 さん



米沢中央高校2年
高橋 飛雄馬 さん



仙台育英高校2年
金 直宏 さん



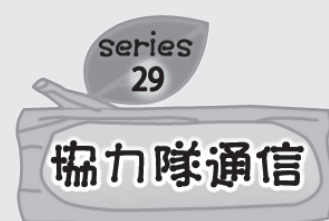
小国中学校3年
齋藤 兼信 さん

「小国町をズバツと縦断」

昨年7月に小国町に来てから1年が過ぎました。小国町の春夏秋冬を感じ、各種イベントに参加したり、いろいろなかたと出会ったり、伝統文化を体験したりと初めての経験をたくさんした濃い1年でした。

さて、7月の暑い日に小国町を歩いて縦断しました。地域おこし協力隊の野口さんと昨年度の緑のふるさと協力隊山中君と3人で行いました。

当初は、5時に五味沢のりふれを出発して町中心部まで行き、叶水、新股を経由し、峠を越えて百子沢、樽口に行き、また峠を越えて小玉川の奥川入に19時着の予定でした。ですが僕



地域おこし協力隊

ねもと しゅんすけ
根本 俊輔



▲樽口峠展望台での一枚

が寝坊し30分遅れ、始めから予定が崩れてしまいました。時間配分もルートも大雑把に設定したので時間が足りず、叶水、新股経由を断念して大滝から峠を越えて百子沢に向かうルートに変更しました。

道中走ったり歌を歌いながら歩いたり、多くのかたから差し入れをいただいたり、飽きることも無く20時に奥川入に辿りつきました。総時間15時間、総歩数7万619歩、総距離約43km達成感たっぷりでした！

技を^な絢う その⑤

人と道具の物語



▲横山 清雄氏
(後ろはご自身が描いた
滝集落の家屋配置図)

横川の最上流部、飯豊山地の奥深い谷間に、約6キロにわたリ開かれていた滝集落。昭和前半期には炭焼きや用材搬出などの林業が盛んにおこなわれ、周囲を覆う広大な森林が人々の生計を支えていました。チェーンソーがまだ一般に普及していなかった当時、材となる木々の伐採は全て鋸(のこぎり)と斧(おの、ヨキと呼ばれることもある)による手作業でした。横山清雄さん(昭和13年生まれ)は、そのような経験を持つ一人です。

中学校を卒業してから、昭和45(1970)年に滝が閉村し、住まいを現在の幸町に移すまでの間、山仕事を専門にしていた。今も大事に持っている鋸を前に、その思い出を話してくださいました。

「うちの父親たちがやってるあたりはバラ鋸(のこ)だったな。それからだんだん窓鋸(まどのこ)っていうのが出てきて。オレら中学上がって(卒業して)からだな。秋田とか、岩手とかから用材伐りがいっぱい入ったときにそれ持ってきたんだな。バラ鋸は歯数はあるけど、やっぱり窓鋸に比べて切れないもんであった。チェーンソーもその頃、昭和30年あたりに、金持っている人はたがってたな。」

鋸は、とにかく刃つくりが大変なもので、慣れねえと。みんなヤスリ買ってきて、擦(す)って(研いで)目立てしたんだ。朝起きるとまず擦って、山さ行つてすぐ切られるようにして。そして、また

昼飯(ちゅうはん)来ると擦って。本当に切れなくなるまで使うと、その刃出しが大変だから、半日に一遍くらいはまずな。でも、ただ擦ればいいというもんでもなく、毎回違つて、コツが必要もんだ。

俺は中学上がって、3年炭焼きした。春4月頃から12月末ぐらいまでずっとだ。そのうちに製材屋つて言つてよ、山で伐った木を(線路の)枕木に挽く人が鶴岡から来たもんだから、そ



▲閉村前(昭和45年8月)の滝(西滝)集落
道の左側の家屋が横山さんの家。右の丸太はスギの間伐材。(小国町役場所蔵)

こに専属で入ったんだな。山で材を伐つて、冬に橈(そり)で出してきて、それを機械で枕木に製材するんだ。クリなぞ一等品だけど、滝の山にはなかったから、ほとんどがブナの木、ナラの木だったな。それに皆、防腐剤を塗ったんだ。それを6年やった。あと、親父はずっと炭焼いてたから、仕事休み休み、そっちの方の手伝いもしてな。木倒すときは倒す側にまず受け(口)を作るんだな。受けは、下の部分を鋸で切つて、斜めに



▲横山さんの鋸 (①バラ鋸、②・③窓鋸、④鞘)

バラ鋸はお父さんから受け継いだもの。

窓鋸は、木を切る歯の後ろに、木くずをまとめて出すための深い溝(窓)が等間隔で入っている。木くずが歯の間にたまらないので、押し引きしやすくなっている。また、刃の付け根の方には窓がない。この部分で木の切り始めに、ある程度筋をつけることで、挽いていくときに刃が逃げにくくなる。バラ鋸も窓鋸も力を入れて引っ張ることができるよう柄が曲がっている。これらの柄は自分でつけたという。刃の長さは①が2尺、②1尺5寸、③1尺6寸。

持ち運び時に刃を保護する鞘は、みんなだいたい自分でつくっていたという。材質はスギ。

鉞(まさかり、斧のこと)で彫っていった。そのあと逆側から鋸で切って(追い口をつくって)いくんだ。幹が太くて刃が端まで届かねえときは、こっち行ったりあっち行ったりして(切断面を)合わせてな。このとき金矢(かなや)がねえば、木は倒さんねえ。鋸の刃立てたところさ金矢を立てて(打ち込んで)、切り口が締まらないようにするんだな。それと、矢打って、その加減で木を倒す方向も調整す

るわけだ。倒す方向は、木の枝向きとか曲がり具合とか見て、木のバランス考えて決めんだ。それが分かるようになんには、まず本数伐らないとな。
木伐りに山さ最初に入るときはお祈りもした。大きな木に御神酒(おみき)をみんなで上げて、それから始めたもんだ。それに昔は産火(さんび)とか死火(しにび)とか、(山仕事にかかわるしきたりが)



▲金矢

伐採で用いられたのは左の方。右の厚めの金矢は、木を縦に割り、薪を作るときなどに用いられる。(白い森くらしの資料館所蔵)



▲鉞(上)と斧(下)

一般的に鉞と呼ばれるのは上の、刃が長い方で、柱材を削るときなどに用いられる。

(白い森くらしの資料館所蔵)

様々あったもんだぜ。」
当時、車は滝まで入ってこられず、山から伐り出され、製材された何百挺(ちよう)もの枕木は、春の雪どけ水を利用して川流しで下叶水まで運ばれたそうです。

「親父らが何かしてたらすぐ手伝ってよ、そうして仕事を覚えていったもんだぜ。俺、今でもよくハケゴとか、草履(ぞうり)とか作って遊んでるけど、そついうのも皆、年寄り衆、親父たちがするのを見て、そして自分で作ってみて覚えてんだ。やってみて、いやこれでは悪いから、なんじよしたらよくなべなあって、また作ってみて。一遍やってこれだよし、なんてものは何もねえもんだ。」

地域のひとと人のつながりにおいて、あるいは家庭で、ごく自然に蓄積されていた「技(わざ)の土壌」。次代へ生活技術を引き継いでいくためには、技術を育んでいた、このような豊かな土壌について今一度見つめ直す必要があるのではないだろうか。

ふるさと小国で新たな決意を胸に刻んで ～第70回小国町成人式～



第70回小国町成人式が、8月14日、おぐに開発総合センターで開催され、新成人64人（対象134人）が出席しました。

式では、仁科洋一町長が「本町のさらなる活性化を図るためには、皆さんの柔軟で豊かな発想と大胆な行動力が必要。雄大で美しいこの小国の地に生まれ育ったことを誇りに、その無限の可能性を秘めた若い力を存分に発揮し、次代の小国町の担い手として、そして日本の未来を託された若者として、活躍してほしい」と新成人を激励しました。

また、新成人を代表して齋藤竜哉さん（五味沢）が、「情報化社会に生きる私たちにとって、飛耳長目（ひじちょうもく）が大切。多様化する社会に臨機応変に対応し、成人としての自覚を常に忘れず、責任ある行動と人を思いやる優しい心を持って社会に貢献していきたい」と熱く成人の誓いを述べました。



白い森おぐにの秋をプロモーション

彩りゆたかな白い森はこれから本格的な秋を迎え、色とりどりの鮮やかな景色が見られるようになります。また、キノコや新蕎麦、新米など、美味しい秋の恵みも出そろいます。

この美しい季節の一つである紅葉シーズンに合わせ、白い森まるごとブランド構想においても主要なマーケットとして位置づけている新潟県で集中的な宣伝活動を行い、小国町の認知度向上と交流人口の増加につなげる取り組みを行います。

今年1月に新潟市で行われたイベントにおいて白い森のPRを行った際、来てくださったお客様のほとんどは小国町のことをご存知で、「白い森」というと道の駅を思い浮かべるというかたが多くいらっしゃいました。

この秋には、道の駅に立ち寄るだけでなく、紅葉スポットを巡って美味しいものを食べていただいたり、のんびり宿泊していただいたり、存分に白い森おぐにを楽しんでいただけるよう、新潟県内で約4万部発行されている生活情報誌に特集記事を掲載します。

さらに、小国町のイメージを伝えるため、白い森ブランドストーリー

と風景写真を用いたテレビCMの放送を、また観光情報や特産品のPRのため、新潟県のテレビ局が行うイベントへの出展も予定しています。この機会に、皆さんとともに多くのお客様をお迎えし、白い森おぐにを満喫していただきましょう。

<今後のプロモーション予定>

○雑誌広告（特集記事）

9月20日発売 「月刊CARREL（キャレル）10月号」
（新潟県内で発行されている生活情報誌）

○テレビCM

9月27日～10月11日 テレビ新潟（Teny・日本テレビ系）
10月中旬 新潟総合テレビ（NST・フジテレビ系）

○イベント出展

9月29日～30日 NSTまつり（新潟市万代シティ交差点）

OGUNI 白い森 ニュース



空き家をリノベーションしています!!

空き家改修パイロット事業第1回ワークショップが、8月4日、岩井沢地内で行われ、町内外の若者約20人が参加しました。これは、今年度町が空き家対策の一環として、交流事業等で町を訪れたかたや、お試し滞在を希望するかたの滞在拠点として、また、町民同士や町民と町外者が交流し、各種ワークショップを開催できるスペースとして利活用するため空き家をゲストハウスに改修するものです。

この日は、木造2階建ての1階部分の居間2部屋を多目的スペースにするため、天井や壁の取り払いなどを行いました。元大工の渡部顕治さんから作業手順を教わりながら、参加者同士と気あいあいと作業を進めていました。今後は、ワークショップを2回開催しながら12月末の完成を目指しています。

平成30年度

白い森芸術文化講演会

■演 題 文字の力 言葉の力 生きる力

■講 師 武田 双雲 氏（書道家）

■期 日 10月14日(日)

■時 間 14:00～15:30
(13:30開場)

■場 所 おぐに開発総合センター

■参加費 無料

■その他 聴講希望のかたは、下記
まで申込みください。

■申込・問合せ先 教育振興課生涯学習担当
(☎62-2141) へ



認知症普及啓発講演会

■日 時 9月26日(水)14:00～15:30

■場 所 健康管理センター

■内 容 演題「認知症を知ろう～正しい理解と備え～」
講師 佐藤病院認知症疾患医療センター長
文 鐘玉 氏

■申込・問合せ先 健康福祉課 (☎61-1000) へ

山形県下水道協会

排水設備工事責任技術者

県内統一試験の実施について

■日 時 11月18日(日)

13:00～15:30

■場 所 協同の杜JA研修所
(山形市東古館123番地)

■申込み 9月3日(月)～9月28日(金)

■講習会 希望者対象の講習会を開催します。

■申込・問合せ先 地域整備課水道業務担当 (☎62-2431) へ

役場庁舎改修工事について

現在、役場庁舎南面西側（小国警察署側の壁面の一部）について、改修工事を実施しています。正面玄関前スロープ周辺で作業車両が出入りします。

正面玄関等の庁舎出入口および駐車場の使用に支障ありません。ご不明な点がございましたら、お問い合わせください。

■修繕箇所 役場庁舎南面西側壁面・屋根修繕

■予定工期 11月30日(金)（予定）

■問合せ先 総務企画課管財危機管理担当
(☎62-2112) へ

平成31年産「つや姫」生産者、「雪若丸」生産組織募集

■申 請 書 町、JA、各総合支庁農業技術普及課にあります。

■提 出 先 《つや姫》産業振興課農政農村担当へ
《雪若丸》置賜総合支庁農業技術普及課・西置賜農業技術普及課へ

■認定要件 水稻作付面積や栽培方法などの要件があります。

■そ の 他 平成30年度に認定をされているかたも申請が必要です。

■問 合 先 置賜総合支庁西置賜農業技術普及課 (☎0238-88-8212) へ

9月14日(金)まで

入札結果情報（平成30年7月21日～平成30年8月20日実施）

入札日	工 事 名	施行場所	工期（完了）	予定価格	落札業者	落札価格
H30.7.24	平成30年度小国町公共下水道事業小国浄化センター水処理機械設備更新工事	増岡	—	—	—	入札不調
H30.7.24	平成30年度小国町公共下水道事業中継ポンプ施設電気計装設備更新工事	小国町地内外	—	—	—	入札不調
H30.7.26	平成30年度役場庁舎南面西側改修工事	小国小坂町	H30.11.30	13,040,000	小国開発(株)	13,000,000
H30.7.31	平成30年度町道松岡黒沢峠線建物等調査業務委託	松岡・黒沢	H30.9.14	1,653,000	(株)横山測量設計事務所	1,600,000

※入札結果情報の金額は消費税及び地方消費税を含みません。

平成30年度小国町総合防災訓練について

- 日 時 10月7日(日)8:30~12:00
- 場 所 クアーズテック(株)小国事業所付近
- 訓練内容 北・旭町・小芦地区の避難訓練、応急処置救急救護訓練、初期消火訓練、火災防ぎょ訓練、炊き出し訓練など
- 体験コーナー
災害伝言ダイヤル体験、土砂災害モデル展示、地震体験車、煙ハウス、防災車両や防災物品の展示など。子どもからお年寄りのかたまで、自由に参加・体験できます。防災に関するさまざまな体験コーナーを利用し、この機会に防災について考えてみましょう。
- 訓練に伴う町道の通行止めについて
訓練実施に伴い、町道の一部区間が通行止めとなります。誘導員の指示に従い、迂回路をご利用ください。
- 通行止区間 町道西田沢頭線 田沢頭踏切から北へ200m区間
- 通行止期間 10月7日(日)10:50~11:20
※訓練の進行具合により前後する場合があります。
- そ の 他 災害発生時に自分や家族の命と財産を守るために重要な訓練です。たくさんのかたの参加をお願いします。詳しくは、9月中旬に配布するチラシまたは町ホームページをご覧ください。
- 問合せ先 総務企画課管財・危機管理担当 (☎62-2112) へ



平成30年10月1日から町立病院診療体制が変更になります

皆様にはご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。診療日等の詳しい日程は、病院ホームページおよびほとと通信でお知らせしますのでご覧ください。

《内視鏡検査について》

■変更前 (月)・(火)・(水)・(金)の4日間

■変更後 (月)・(水)の2日間

《外来診療について》

毎週木曜日と金曜日の午後の外来診療を休止とします。なお、救急患者の診療は現行どおり行います。(毎月第2および第4木曜日の午後の外来診療は現行どおり行います。)

■問合せ先 小国町立病院 (☎61-1111) へ

平成30年度地域資源活用域学連携事業始まる!!



地域資源活用域学連携事業が、8月3日から6日までの間、町内各所で実施され、早稲田大学や法政大学、日本女子大学の学生13人が本町を訪れました。

今年は、町内から募集した農業・森林セラピー・商品開発・小規模校活性化の4つのテーマに分かれ、提案者との情報交換や調査などを行いました。学生たちは、今後都市部での調査や来町しての調査、提案者との話し合いを継続し、来年2月に成果発表をする予定です。

募集

町営住宅入居者募集

① 町営住宅小坂町団地

3DK 2戸(3・4階)

■家賃 所得と家族構成による
■その他 所得制限あり

② 町営住宅あけぼの団地

3DK 2戸(2・3階)

■家賃 所得と家族構成による
■その他 所得制限あり

③ 町営住宅あけぼの高齢者団地

1LDK 1戸(1階)

■家賃 所得と家族構成による
■対象

▽世帯所得が21万4千円以下
で住宅に困っているかた

▽60歳以上のかたで自立した
生活を送ることができ、同
居するかたが配偶者または
60歳以上の親族であること

④ 小坂町勤労者住宅

2DK 1戸(3階)

■家賃 38000円

■対象 町内事業所にお勤めのかた

①〜④共通

◎敷金 家賃の3カ月分

◎募集期限 9月10日(月)

◎入居時期 9月下旬以降

◎問合先 地域整備課建設管

理室(☎62・2431)へ

ご案内

西置賜防災フェスタ

2018

■日時 9月15日(土)9時〜12時

■場所 西置賜行政組合消防

本部・防災センター

■内容

《開会セレモニー》1日消防

署長の任命(小国町消防団

女性消防団員)・すみれ保育

園による鼓笛とカラーガー

ドポンポン隊の演技

《イベント》防火ポスター表

彰式、災害現場で働く車の

展示、飯豊町消防団音楽隊

■問合先

西置賜防災センター(☎

0238・88・1839)

へ

鉄道写真家広田泉先生と行く
フラワー長井線撮り鉄の旅

■日時 9月22日(土)

9時〜17時

■集合場所 赤湯駅

■旅行代金 2500円

※幼児(食事なし)無料

■定員 先着20人(要申込)

※最少催行人員 5人

■持ち物 カメラ

■申込・問合先

(二財)置賜地域地場産業

振興センター(やまがた長

井観光局)(☎0238・

88・1831)へ

平成30年度「希望が丘祭」

■テーマ

一笑懸命 あらたな未来へ

■日時 10月6日(土)

9時50分〜15時

■場所 コロニー希望が丘体

育館およびその周辺

■内容 ダリヤ太鼓、オカリ

ナ演奏、フラダンス、乗馬

体験など

■問合先 コロニー希望が丘

ひめゆり寮(☎0238・
46・3102)へ

山形県商工会等職員採用試験
のご案内

■応募資格

《上級》昭和36年4月2日
以降に生まれたかたで商工
鉱業の指導実務等の経歴が
あるかた

《初級》昭和54年4月2日
から平成13年4月1日まで
に生まれたかた

■職務内容 県内市町村の商
工会における地区内事業所
の経営指導業務または経営

指導補助業務

■1次試験日時等

○期日 10月20日(土)

○場所 霞城セントラル

○種目 適性試験・論文試

験・学科試験

■受付期間 9月25日(火)〜10

月2日(火)

■採用予定数 各5人

■申込・問合先 小国町商工

会(☎62・4146)また

は山形県商工会連合会ホー

ムページをご覧ください。

9月の 保健カレンダー

1. 各健診の日程等

■4カ月児健診

- ・期 日 9月28日(金)
- ・受付時間 13:00～13:10
- ・対 象 平成30年5月生まれ

■1歳6カ月児健診

- ・期 日 9月7日(金)
- ・受付時間 12:30～13:00
- ・対 象 平成29年1月、2月、3月生まれ

2. 場 所 健康管理センター

3. その他

母子健康手帳を持参ください。

4. 問合せ 健康管理センター (61-1000) へ

子育て支援センターから

■9月の広場日程

広場名称	曜日	時間	申込
なかよし広場	月～金	9：30～11：30・13：00～15：30 (水・金は午後のみ)	不要
	9月28日(金)午後はお休みになります		
子育て講座「エアロビクス」	9月20日(木)	10：20～11：20・健康管理センター	不要
子ども服リサイクル	9月13日(木)	9：30～11：30・子育て支援センター	不要

■対象者 なかよし広場・子育て講座 就学前のお子さんとお家のかた
■その他 平日はいつでも子育て相談に応じています。また、白百合保育園(水曜午前)、すみれ保育園(金曜午前)でも同様の場所を設けています。詳細は各保育園にお問い合わせください。

■問合せ 子育て支援センター(おぐに保育園内 ☎62-2330)・白百合保育園(☎62-2436)・すみれ保育園(☎62-5284)

休日当番担当歯科医のお知らせ

9月2日(日)	長井 鈴木歯科医院	0238-84-6616
9月9日(日)	米沢 もり歯科医院	0238-26-6406
9月16日(日)	高畠 むらかみ歯科医院	0238-52-4855
9月17日(月)	米沢 くまの歯科医院	0238-40-8600
9月23日(日)	長井 えんどう歯科クリニック	0238-84-1088
9月24日(月)	米沢 レインボー歯科医院	0238-26-1182
9月30日(日)	川西 ふなやま歯科医院	0238-42-3057

求 人 情 報

右の表は8月21日現在でハローワークへ登録された求人のうち、小国町をおもな就業先としている求人情報です。既に雇用が確定している場合もありますので、ご了承ください。
求人情報の詳細については、ハローワーク長井(☎84-8609)へ。

今月の納税 2018.9

9月期の税金等の口座振替は、次のとおりです。振替日の前日まで、指定の口座に入金してください。

●9月26日(水) 水道料

●10月1日(月)

固定資産税、国民健康保険税・後期高齢者保険料、介護保険料、下水道料、簡易水道料、住宅使用料、保育料、児童福祉使用料

■問合せ

町民税務課税政管理室
(62-2403) へ

事業所名	職種	求人数	勤務時間
(有)東部開発	農作業員	1人	8:00～17:00
カインドネス(有) おぐに調剤薬局	医療事務	1人	8:30～17:30他
	医療事務(パート)	1人	9:00～13:00
日本マニファクチャリングサービス(株)山形支店	(派)機械加工および付帯業務	5人	8:20～16:50他
(有)横川自動車整備工場	自動車整備工	1人	8:30～17:30
(株)サンコーポレーション (パチンコラッキー7)	ホールスタッフ(正社員)	1人	8:30～17:00他 8:30～0:00の間の2時間以上
	ホールスタッフ(アルバイト)	1人	
	ホールスタッフ(パート)	3人	
安部工業(株)	現場監督員	2人	8:00～17:00
	運転手	2人	
	型枠大工	1人	
(株)高橋工務店	土木技術者	2人	8:00～17:00
	建築技術者	2人	
	一般土木作業員	2人	
(株)山芳工務店	電気設備工(見習い)	3人	9:00～18:00
ひささ電材(株) 小国工場	電線のアセンブリーおよび検査	5人	8:30～17:30
(有)小国技研	ボーリング洗浄工および作業管理補助	1人	8:00～17:00
ハイコー(株)	電気工事(見習い可)	3人	8:00～17:00
(株)コメリ	店舗運営職・幹部候補(ナショナル社員)	2人	8:45～17:45他
太平ビルサービス(株) 置賜営業所	(請) 日常清掃係「小国町～飯豊町」	1人	9:30～13:45

※先月号掲載分以降に新規で登録された求人掲載しています。
※町ホームページに求人情報を掲載しています。

9月の あいベイベント カーリンコン・ボッチャ教室



ディスクやボールを投げ合うスポーツです！
 どなたでも気軽に楽しむことができます。

- 日 時 9月20日(木)10:00～12:00
- 対象者 どなたでも
- 持ち物 室内シューズ、飲み物
- 参加費 100円（保険料込）

第10回Yuiスポーツすっぺスタ

- 日 時 9月9日(日)9:00～
- 場 所 町民総合体育館
- 対象者 どなたでも
- 内 容 ソフトバレーボール大会、けん玉検定会、
 バランスボール体験、トレーニングマシン教室、ニュー
 スポーツ体験、スポ少対抗戦、餅まき、Snowcherry発
 表会、onedayカフェなど楽しいことがいっぱいです。
- 持ち物 室内シューズ等
- 参加費 100円（保険料込）
 ソフトバレーボール1,000円／チーム
- その他 ソフトバレーボール大会参加チーム大募集

■申込・問合せ先
 (☎62-5808)

おぐにYui
 スポーツクラブ

相 談

▽行政相談

- 日 時 9月22日(土)
 10:00～12:00
- 場 所 役場
- 対応者 行政相談委員 齋藤恒助 氏
- 申込・問合せ先 町民税務課町民生活担当へ

森のようちえん

木漏れ日のブナの森で、子どもたちを
 のびのびと遊ばせてみませんか？

- 日時 9月24日(月)祝 9:00～13:30
- 場所 胡桃平ぶな畑（小国町大石沢）
- 集合 水源の郷交流館 9:00
- 定員 先着20人
- 対象 2～6歳のお子さまとその家族
 （2歳未満の場合はご相談ください。）
- 参加費 100円（保険料等）
- 申込締切 9月19日(水)
- 申込・問合せ先 NPO法人ここ掘れ和ん話
 ン探検隊（☎62-5955）へ

第16回おぐに鍋まつり出店者募集

あなたの自慢の鍋で、おぐに鍋まつりに参加してみま
 せんか。

- 日 時 11月4日(日)11:00鍋販売開始
- 場 所 アスモ西口駐車場
- その他 当日は「おぐに再発見！自然の恵み大感謝祭」
 も同時開催されます。
- 申込締切 9月25日(火)（出店者申込）
- 問合せ先 おぐに鍋まつり実行委員会（小国町商工会内）
 (☎62-4146) へ

NPO法人With優出張相談会

- 日時 9月25日(火)10時～14時
- 場所 おぐに開発総合センター研修室
- 内容 専門の相談員が学校や就労のこ
 とについて、本人やご家族からの相談
 に対応します。無料の相談会ですが、
 基本的に予約優先となります。お気軽
 にお問合せください。
- 問合せ先 NPO法人With優 安達まで
 (☎0238-33-9137) へ

総 合 セ ン タ ー 図 書 室 か ら

～新着図書～

休館日 毎週月曜日・祝日

- | | | |
|----------------|-----|-----|
| ◇凶犬の眼 | 柚 月 | 裕 子 |
| ◇ファーストラヴ | 島 本 | 理 生 |
| ◇大家さんと僕 | 矢 部 | 太 郎 |
| ◇三千円の使い方 | 原 田 | ひ 香 |
| ◇バッグをザックに持ち替えて | 唯 川 | 恵 |

米沢檢察審査協会会員募集

米沢檢察審査協会は、檢察審査員およ
 び同補充員任期終了者有志による団体で
 す。審査会制度の周知パンフレット配布
 活動や裁判所での傍聴を経験しながら、
 制度の普及発展を目指してボランティア
 活動をしてみませんか。

- 応募・問合せ先 米沢檢察審査協会会長
 寺嶋 貞雄（☎0238-88-4554）へ



●小国町役場 ☎62-2111(代)fax62-5464
 ●行政管理局・管財危機管理局 ☎62-2112 ●企画財政室 ☎62-2264 ●会計室 ☎62-2406
 ●住民窓口担当・町民生活担当 ☎62-2260 ●国保医療担当 ☎62-2261 ●税政管理局 ☎62-2403
 ●白い森ブランド戦略室・移住定住促進室 ☎87-0821 ●商工観光室 ☎62-2416 ●農林振興室 ☎62-2408
 ●建設管理局 ☎62-2431 ●建設技術室 ☎62-2432 ●議会事務局 ☎62-2448

戸籍のまど

(7 月 届 出 分)

おくやみ申し上げます。

舟 渡 小 池 吉 子	(87)
小国小坂町 長谷部 カ ツ	(100)
北 伊 藤 三 男	(89)
五味 沢 佐 藤 てつ子	(77)
叶 水 高 橋 祐 治	(86)
田 沢 頭 渡 邊 たつの	(89)
岩 井 沢 渡 部 愛 子	(87)
岩 井 沢 伊 藤 タ 辛	(85)
緑 町 河 内 實	(83)
兵庫 舘 佐 野 昭 吾	(77)
芹 出 舟 山 サ キ	(93)
岩 井 沢 小 田 政 昭	(73)

※この欄に掲載を希望しないかたは、届出の際にお申し出ください。

人口のうごき (平成30年7月31日現在)

人口	男・・・3,792人 (-21)
	女・・・3,835人 (-21)
計	・・・7,627人 (-42)
世帯数	3,080世帯 (-8)

編集後記

7月27日に行われたあいべ夏まつり。恒例の流しそうめんどかき氷が振る舞われまして、私も取材にお邪魔した。舟山理事長特製のあずきミルクをごちそうになりました。塩加減のきいた絶妙な大人の味でした。話は変わり、大阪桐蔭の史上初2度目の春夏連覇で幕を閉じた夏の甲子園100回記念大会。秋田県代表の金足農業高校が強豪私立を次々と撃破し準優勝。地方大会から甲子園決勝までの11試合を9人で戦い抜いたタフさに、元高校球児として脱帽です。(斎藤)

仕事 vol.5 図鑑

荒川興業株式会社

代表者 代表取締役 鈴木 正昭
 従業員数 147人
 所在地 小国町大字西169-15
 事業概要 炭素・炭化珪素・石英ガラス製品加工

「今まで接客業の経験しかなく、資格も持っていなかったため、製造業でやっていけるのか不安でしたが、社内では周りのかたが優しく丁寧に仕事を教えてくれて、毎日楽しく仕事をしています。」そう話すのは、今年4月に小国町に引っ越し、荒川興業㈱に入社した木村里美さん(小国小坂町)。

木村さんは現在、荒川興業㈱で石英ガラスやカーボン(黒鉛炭素)を旋盤と呼ばれる機械で加工し、ガラスパイプのような半導体関連の治具製作等を行っています。「加工の際、部品や工具の作業位置の指示や誘導、コンマ5ミリ単位で切断加工したり、ノギスを使って加工した製品の寸法を正確に計測したりする作業が難しいと感じていますが、周りの皆からは、『最初はわからなくて当たり前』と言われ、何度も教えてくれる優しいかたに囲まれて仕事をしています。社内では、そうしたかたがたに囲まれてとても楽しく心強く感じています。また、昼食時には食堂で野菜や果物などをお裾分けしてくれるかたもいてお昼の時間も楽しみです。最近は、社内行事のバーベキューや同僚との温泉旅行など仕事以外もとても楽しく過ごしています。現在は、周りのかたに支えていただきながら製品づくりを行っていますが、なるべく早く1人で製品づくりができるようになりたいですね。」と木村さんは話します。

荒川興業㈱では、主に町内企業で半導体製造に用いられる道具の部品などを製造しているため、その製品が一般のかたの目に触れることはあまりありませんが、半導体製造に欠かすことのできない縁の下(フチノソコ)の力持ちとして、先端技術の発展振興の一助となるように、社員一同で真心を込めた製品づくりに取り組んでいます。



▲石英ガラスの旋盤加工をする木村里美さん

無言の語り部たちⅡ

その⑤

「湯殿山碑」(今市)

古来より国内屈指の霊場として栄えた出羽三山。このうち羽黒山は聖観音菩薩を、月山は阿弥陀如来を、そして湯殿山は大日如来を本地仏としており、それぞれ現世、前世、来世という三世の浄土を表していると考えられます。そのため、羽黒山から入り月山、湯殿山へと巡拝し、行を積むことで生まれ変わり(死と再生)、即身成仏できると信じられてきました。このような出羽三山信仰が近世期になると庶民の間にも広まり、県内はもとより東北、関東地方の村々から多くの参拝者が詣でるようになったのです。

なかでも「総奥の院」(最も大切な場所)とされた湯殿山は、「初め湯殿大権現と称されたが、戦国時代に三山の統一がされた後、真言宗の聖地、大日如来の浄土として信仰さ

れ、牛がその地神とされるようになったと、その縁年の丑年には参詣者が多く昭和12年(丑)には夏季だけで平年の2倍、20万人に達したといわれる。昔は村々に三山講、湯殿山講(八日講)などをつくり『クジ』によって交互に『お山詣り』をする組織があった」のです(『小国の文化財』による)。

そうした講中が湯殿山詣りの記念などで建てたのが、町内でも数多く見られる湯殿山碑であり、5月号で紹介した八日塔です。今市地区の県道脇、小高い丘の上に建てられた湯殿山碑もそのひとつ。高さ約1メートルほどの碑には、「文化十四年四月八日」という日付と、願主として「利兵衛・市左門」という2軒の屋号が刻まれています。この(旧)4月8日は、大同2(802)年、弘法大師が湯殿山を開山



▲今市地区にある湯殿山碑

した日であり、湯殿山講の縁日です。さらに、この文化14(1817)年はちょうど丑年に当たりました。今から遡ること200年前、今市では、縁年で諸国から大勢の参詣者が集まり盛況極める出羽三山へと村人をお詣りに送ったのです。

講中での湯殿山詣りがなされなくなつて久しい現在、その碑の由来も忘れられつつあります。碑に記された利兵衛家の貝沼みゆきさん(今市)は、「石は昔からあったけど、そのいわれは聞かなかつたな。じつは、ちゃん元気だったときは、年に一度くらい石の周りの草

刈りだけはしてたんだけど。」と話してくださいました。お詣りに行くには、「3週間前から精進料理で朝夕は水垢離をとり、ひたすら神仏を拝み身を浄め、心を慎む修行して出かけ」たのです(『小国の信仰』)。そして、その道中もまた非日常の旅であり、外の世界の広さを知る、あるいは自然の懐深さを再確認する貴重な経験であつたに違いありません。それらを通し、自己を見つめなおし、成長させていったのです。この碑には、そうした人々の大切な思い出が詰まっていたと言えるのではないのでしょうか。